

匠の技

TAKUMI - Art du Japon



対談シリーズ 2019

～識者と語る日本人論～

グローバル化 / AI 時代における日本人らしい生き方とは

第2回

小笠原 敬承斎 | 小笠原流礼法宗家 • 宇津木 安来

日本舞踊実践家・研究者
東京藝術大学大学院音楽研究科邦楽専攻在籍中
東京藝術大学博士号(日本舞踊領域)取得

対談ホスト / 近藤 誠一 | 一般社団法人 TAKUMI - Art du Japon 代表理事

【テーマ】 伝統的礼法・所作にみる日本人の宇宙観



小笠原 敬承斎

おがさわら けいしょうさい

東京都生まれ。小笠原忠統前宗家（小笠原惣領家三十二世主、平成8年没）の実姉・小笠原日英門跡の真孫。副宗家を経て、平成8年宗家に就任。約700年の伝統を誇る小笠原流礼法初の女性宗家となり、注目を集める。伝書に基づいた確かな知識で、門下の指導にあたり、各地での講演や執筆活動を行っている。

■小笠原流礼法ウェブサイト <http://www.ogasawararyu-reihou.com/>



宇津木 安来

うつぎ あんら

平成2年生まれ。日本舞踊実践家・研究者。東京藝術大学音楽学部邦楽科日本舞踊専攻卒業後、同大学大学院音楽研究科邦楽専攻日本舞踊領域修士課程を修了。現在、博士後期課程に在籍中。博士課程研究テーマは、「日本舞踊における体幹部の技法分析～モーションキャプチャーを用いて～」。日本学術振興会特別研究員。運動科学総合研究所研究員。2019年1月に東京藝術大学より博士号（日本舞踊領域）を授与される。

日 時：2019年2月25日(月) 18:00～

会 場：アークヒルズクラブ

港区赤坂1-12-32 アーク森ビルイーストウィング37階

会 費：一般14,500円、会員12,500円（食事含む）

定 員：50名（先着順）

主 催：一般社団法人 TAKUMI - Art du Japon

協 力：公益社団法人 日本工芸会



■「匠」の精神を未来につなぐために

日本の伝統工芸に表れる「匠」の精神を、文化財だけでなく、日本人の生き方、あるいは先端産業の競争力という新たな視点からとらえ、その保存継承と未来に向けた発展を目的に、2017年11月30日、一般社団法人 TAKUMI - Art du Japon を設立いたしました。当法人の設立目的や今後の活動などについては、<https://www.takumi-artdujapan.jp> をご覧ください。

一般社団法人 TAKUMI - Art du Japon 代表理事 近藤 誠一

協 賛：  アルピオンアート株式会社



【お問い合わせ・お申し込み】

TAKUMI-Art du Japon 事務局 Mail: takumi.japon@gmail.com
Tel: 03-3346-6000 Fax: 03-3346-3222